

上石神井駅周辺地区の まちづくりと南北道路(外環の2)に関する説明会

説明会概要

「上石神井駅周辺地区のまちづくりと南北道路(外環の2)に関する説明会」を平成28年2月11日(木・祝)、12日(金)に練馬区立 上石神井小学校 体育館で開催し、2日間でのべ215名の方にご来場いただきました。



会場：上石神井小学校 体育館

開催日	参加者数
平成28年2月11日(木・祝)	160名
平成28年2月12日(金)	55名

説明や質疑・応答から

まちづくり	<p>Q：まちづくりのこれまでの検討経緯は。今後も地域の意見を取り入れてほしい。</p> <p>A：平成13年にまちづくり協議会が設立され、練馬区は地域のみなさまと一緒にまちづくりを検討してきました。昨年のワークショップでは協議会員に加え、一般公募の方も参加いただき、まちづくりへのご意見を多数いただきました。オープンハウスも開催し、これまでのまちづくりの検討状況等をお知らせしたところです。今後も地域のみなさまのご意見を伺いながら、まちづくりを検討していきます。</p>
南北道路	<p>Q：南北道路(外環の2)の都市計画変更の経緯は。</p> <p>A：都は平成20年に検討の進め方を公表し、外環の2の必要性やあり方などについて、広くご意見を聴きながら検討を進め、平成26年に都市計画の変更を決定しました。</p> <p>Q：南北道路の整備効果は。</p> <p>A：南北道路の整備により、安全で快適な歩行空間や自転車走行空間の創出、良好な道路景観の形成、安全で円滑なバス交通の確保、生活道路に流入する通過交通の抑制、防災性の向上などの効果が見込まれます。</p> <p>Q：南北道路を整備しなくても、駅周辺の現道を一方通行にして部分的に拡幅すれば問題解決するのでは。</p> <p>A：都市計画道路の区域外の現道拡幅は、沿道の堅固かつ中層以上の建物などを考慮すると困難であると考えています。地域課題の解決のためにも、駅周辺の南北道路の整備が必要だと考えています。</p>
駅前広場	<p>Q：他の地区で同じような形態の駅前広場の整備事例があれば示してほしい。</p> <p>A：今回お示した駅前広場の形状等は、当初の外環の2の都市計画の計画区域を活かしたものとなっております。形としては珍しい形状ですので、今後も、地域のみなさまのご意見を踏まえて具体的に検討していきます。</p>
鉄道の立体化	<p>Q：西武新宿線の立体化の検討状況は。鉄道立体化の時期によらず南北道路の整備は進めるのか。</p> <p>A：西武新宿線の井荻から東伏見駅付近の区間は、都が「事業候補区間」に位置付けて、構造形式等も含めて検討中です。西武新宿線の立体化を見据えて、南北道路の整備は着実に進めていきます。鉄道立体化にあたっては、交差する都市計画道路の整備計画の具体化や、駅周辺のまちづくりの取組を進めることが重要だと考えています。</p>
今後の進め方	<p>Q：駅周辺のまちづくりと南北道路の整備に関する今後の進め方やスケジュールは。</p> <p>A：平成28年度からは「南北道路と駅前広場の沿道まちづくり」をテーマに地域のみなさまのご意見を伺いながらまちづくりの詳細な検討を進めていきます。南北道路は、今後、測量等を進め、2～3年後の事業着手を目指し、地域のみなさまにご協力いただきながら整備を進めていきます。</p>